



「よくなろ！」新聞 2025年 12月

こんにちは。今年の最後の月がやってまいりました。油断せず健康に気をつけたいものですね。
コルセットをずっとしていると…。

つらいときは動くと痛みが出るものです。痛いと不安になります。動かないと痛みを感じることは少なくなるので、コルセットを痛いときはずっとしたほうが良い。と思っている方がいます。必要なときだけ使う場合と、ずっとしているとどうなるか?の違いはあまり知られていません。腰に関するうとずっとし続けると、骨盤が後ろに倒れて腰が引けた状態になります。同時に両膝が開いてガニ股になります。コルセットを外してもガニ股は続いてしまいます。必要な時だけ付けるのが正解のようです。(^-^)

手放すと楽に生きられる情報

以前からだのことで人に言われたことを気にしている人は結構います。テレビで言っていた、お医者さんからそう言わされた…。その言葉は年月が経つほどしっかり定着してしまいます。例えば、手術をするしか施しようがない…。毒素が溜まっているからそれを除去するしか方法がない…。いろいろあるのですが、**そのときはそう言われたかもしれないけど、時代が変わってもっと良い改善方法がありそうだ…。**考えてみると、一つの考え方であってそうでないかもしれない。などと違う可能性を考える余裕がない人もいます。眞面目に悩んで困っている人ほどとらわれてしまう罠なのかもしれません。

何が言いたいかと申しますと、体について知っていることは実態とは違っていた。ということがあるのです。現代医学も10年経つと様変わりするくらいに常識も変わると言います。「あ~。そうなんだ。前に言っていたことは違っていたのですね。」と情報を上書きできるといいのですが、かたくなに手放すことを拒否してしまうケースがあります。信じていたことが違っていることを認めると、不安におそわれるのかもしれません。そういう場合はあまり強く伝えても良くないようなので**事態が好転するまで待つ**しか方法はないようです。

吉田邦夫先生の想い出

当院で良く行う施術の中に頭蓋骨の調整法があります。痛くなく目で見てわかるほど結果を伴うもので15年以上使っていますが施術している私もずいぶんと助けられました。この方法は静岡の吉田邦夫先生の勉強会に60回以上通って学んで来た手法です。あるとき、東京医大の三人の教授が吉田先生の方法と実技を見て「医大では解剖学を学んで来たけど、こんな発想で解剖学を活かした治療法は思いつかないよね。」と話されていたとか…。小柄で学者肌の吉田先生は、どこからその情熱が出てくるのか。体を良くするためにはどうやればいいのか。常に探求していました。そんな先生も82歳で先月鬼籍に入られました。すぐに身に付けられる治療法がもてはやされる時代になり、じっくり取り組む必要がある吉田先生の頭蓋骨のセミナーは受ける人も少なくなり、残念ですが終わりになってしまいました。先生に教えて頂いたことをさらに発展させていきたいですね。

「棟吉くんの家は…。」

棟吉（とうきち小学6年）の友人の妹さんが小学1年生でご近所さんです。うちの奥さんの話では、最近その女の子がうちに来て、「棟吉くんのおちは、ああ、おうどん屋さん。」と言ったそうです。どうやら、だしの自動販売機が隣りにあるので女の子は息子の家はうどんやさんをやっていると思い込んでいました。(^^;



大切な方をご紹介ください。心を込めて施術いたします。

長年通っていたお店の店長に教えてもらいました。

Yさん談

大切なひとには心を込めて整体します。紹介された方初見料2000円引き

あいば院の駐車場は2台です。東へ100Mと整体院の前に一台

兵庫県西宮市高松町18-1 阪急西宮北口駅 東出口から徒歩3分

休院日 日曜日・祝日 ☎ 0798-66-0099